

ー よく考えて学習する子、豊かな心の子、健康でたくましい子 ー



創立108周年

希望の虹

発行者 中山 幸浩 (校長)



言葉には心が宿る

ある記事に目が留まった。「言葉には、心が宿る。」コラムニストの竹内正明さんが若き日に北海道大学を受験した。試験の後日、合否電報が届いたという。『ポプラナミキユキフカシ サイキライノル』。つまり、不合格。浪人して翌年、再挑戦で合格した際の電報は、『クラークホホエム』だった。合格者への電文は8文字に対し、不合格者には、倍以上18文字。「悩みに沈む人には、日が当たる人以上に言葉が必要である」と。子どもは、悩みを持っていてもうまく表現できない場合が多い。大人が、様子を伺い、よく聞いてあげ、勇気を持たせる言葉かけが必要である。

主体性を育む「朝の教育活動」の推進

■授業開始前の活動【特色ある活動】

今回は、「朝の教育活動」を紹介いたします。月曜日から金曜日まで、下記のような取組を推進し、子どもたち主体性を育む活動を推進しています。ほとんどの児童が、朝8時頃までに登校しており、8時15分まで清掃活動などボランティア活動を実施。その後、各学級での朝の会の後、曜日毎に下記活動を実施しています。(8:25~8:40の間)

月曜日・・・朝の読書活動(児童の主体的な読書活動)

火曜日・・・はげみ学習(国語・算数)

※全教職員による、基礎的な学習内容の指導の時間です。県の「形成確認問題」等を活用し指導を実施しています。

水曜日

第1週 ◇生活朝会(月の生活目標の確認反省)

第2週 ◇校長講話

第3週 ◇委員会発表(児童委員会の発表)

◇学級活動

第4週 ◇音読朝会(学年毎の音読発表)

木曜日 8時25分から1校時のため朝の活動はありません

金曜日・・・読み聞かせ

※職員朝会の間に、毎月、第2、4週は保護者や地域の方による読み聞かせ、第1、3週は高学年による読み聞かせも行われています。今後も、子どもたちに確かな学力を身に付けさせ、主体性を育む朝の活動を更に推進していきたいと考えています。

「サツマイモ収穫」

5月8日に全児童で植え付けたサツマイモを10月10日に収穫しました。今年は昨年より虫に食われたものも多くありました。それでも児童は巨大な芋を掘り当てると歓声をあげて喜んでいました。

たくさんとれたよ!



敬老ふれあい会

■ゲームや踊りを通して交流【特色ある活動】

10月15日(月)に、地域のおじいちゃん・おばあちゃんを多数お迎えし、全校児童と「ゲームや踊り」を通して交流しました。「〇〇のおじいです」など、孫の名前を出しての自己紹介や方言での自己紹介の後、児童の自己紹介があり、その後、4つのグループに分かれ、人間知恵の輪や踊り等を楽しみました。最後に、児童の感想発表があり、お礼の品をいただくなど笑顔の交流となりました。「何度、やってもたのしいね!」「元気になるさあ」「今日は楽しい1日でした。また、長生きできるさあ」と、うれしい感想も聞かれました。



校長講話⑤

「人は、なぜお勉強しないといけないのかな?」

10月10日(水)にプレゼンテーションを活用し、「校長講話」を行いました。(以下の内容です)

一つ目は、「お花や植物が大きくなるために必要なのは?」との問いに、「水、土、肥料、光」等と、子どもたちがつぎつぎと応えてくれました。花や木は、大きくなるほど「根っこ」を広く、深く伸ばしていきます。「皆さんを木に、たとえると・・・小学校時代は「生きるための根っこ」をのばす一番だいじなとき。

二つ目は、水鳥が泳ぐ画像を見せて、「ゆうゆうと泳いでいるように見える水鳥でも、実は、水面の下で、一生懸命に足をうごかしてしてる。」「立派な人でも、努力をしないで立派になった人はいません。みんな、誰も見ていないところで一生懸命、水鳥のように努力して、立派になって行くんですね。」「小学生のいまは沢山お勉強をします。自分らしく強く大きくしっかりした根をのばすためです。親や先生方、まわりの大人の人はその手助けをします」等と話しました。

家庭でも、お子様と「なぜ勉強を頑張るのか」保護者の皆様の体験をもとに、話し合ってみてはいかがでしょうか

